

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		成人保健事業費【いきいきヘルシー教室】							
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業番号	4	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	健康推進（健康） 課			保健 係			課長名	志村明子	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実						総合計画書 (ページ)	47		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	おおむね40歳から64歳までの市民			40歳から64歳までの市民(令和3年4月1日時点)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	テーマに沿った事項について、正しい知識を得ること で健康意識が向上する。			教室参加者数(延べ)					
2 指標の推移	対象指標		①の数値	人	29,476	29,774	29,869		
	成果指標		②の数値	人	37	16	18		
	目 標		②の目標値	人	20	8	8		
			目標値設定の考え方 教室の定員を満たす。						
活動指標		③の数値	回	4	4	4			
3 経費	事業費(実績)		円	82,285,939	66,412,295	45,246,290	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	72,431,574	56,526,077	39,953,290			
		特定財源(国・都・他)	円	9,854,365	9,886,218	5,293,000			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2			
		所要人数(再任用)	人	1,662,000.0	1,676,000.0	1,650,000.0			
		職員人件費(再任用以外)	円						
職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	82,285,939	66,412,295	46,896,290				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成9 年度 以前						
	(2) 環境の変化 成人保健法の教育に基づき、生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図るために開始された。 健康増進法第17条により、健康教育を実施する。生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を図る。								

事業名称	成人保健事業費【いきいきヘルシー教室】			
担当部署・課長名	健康推進（健康）	課	保健	係 課長名 志村明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	アンケートから、運動前と後え2回INBODYの測定をし、変化が目に見えてよかった、身体を動かして気持ちよかった、栄養の講話とても楽しかった、簡単に調理できそうで自分でも作ってみたい、という声があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ  <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：                      ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（                      ）		
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	特になし			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	参加者が少ない			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 教室のテーマを検討。 新型コロナで緊急事態宣言下で実施した教室もあった。感染症対策を講じるため。定員数の大幅削減や内容を変更して実施。 ターゲットの年齢層の参加者が参加しやすいように保育付で実施			
7 課題	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	外出自粛で健康教育の重要性は上っている。 参加者が少ない。 対象の年齢層が参加していない。（65歳以上22%、40歳未満11%）			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 保健・医療の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある    事業名（                      ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	【取組内容】 市民のニーズも反映させたテーマを選定し、参加者数の増加につなげる。 ツイッター等を利用した教室の周知方法の更なる検討するとともに、コロナ禍でも感染症対策を講じた上で、継続実施していく。 なお、コロナが終息した場合は調理実習を取入れる等、内容の充実させる。		
9 今後の方向性	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	特になし			